

タコのうわさ

神戸大学経済経営研究所

藤村 聡

タコの名産地と言えば「明石のタコ」ということになっている。しかし、その根拠は、大変に心もとない。

江戸時代から関東地方では食材としてタコがそれほど好まれた形跡がないのに対して、「この世に女の好むもの、芝居・浄瑠璃・いも・たこ・なんきん」という俚諺が大坂で人口に膾炙したように、関西ではタコは絶大な人気を誇ってきた。この言葉は井原西鶴という説もあるが、菅見の限りでは確証は得られない。薩摩芋が世間に広まったのは8代将軍吉宗の飢饉対策以後であり、西鶴は遥かにそれ以前の人物であるので、この言葉が西鶴によるものならば芋は里芋、西鶴以後ならば薩摩芋ということになる。ちなみに今日でも家庭で作られる「芋タコ南京」は里芋とタコとカボチャ（南京）の炊き合わせである。

「明石のタコ」は、昭和38年の「サンパチ冷害」と言われる海水の異常低温で絶滅したことは余り知られていない。このとき海水温は4℃まで下がり、冷たい明石海峡の奔流の中でタコは生き延びることができなかつたのである。その後、九州天草地方からタコが運ばれて放流され、今日の全盛に至っている。従って正確には「天草起源の明石のタコ」と理解されなければならない。ただし味は別問題。氏素性とはもかく、エサが豊富で激しい潮流に揉まれた明石のタコは、また格別の美味と言われる。幕末期に外国奉行として幕府に仕え、明治期に文人として活躍した成島柳北が明治2年冬に山陽地方を旅した際には、明石近郊の高砂で「此浦にて漁人の捕りし章魚を買ひて食らふ、其の味の美なるにハほとほと驚きたり」とタコの美味しさに驚嘆し、「高砂や歌人も知らぬ蛸の味」という戯れ歌を発句している。

かように関西ではタコは美味で古くから人気があったが、「明石のタコ」というブランドの確立時期はさだかでない。おそらく、たこ焼きの普及によるところが大きい。たこ焼きは昭和初年に大阪で生まれて庶民の味として定着し、日本生まれのファスト・フードとして全国に普及した。昭和初年のたこ焼きは「ラジオ焼き」と呼ばれ、その具材は当初は肉やコンニャクであり、昭和10年頃からタコを入れるようになった。一方、明石では明治時代から「玉子焼き」というたこ焼きによく似た料理が存在し、昭和62年に、明石という名称をもつと全国に広めたいという明石市役所職員の提唱で「明石焼き」に改称された。「たこ焼き」と「明石焼き（玉子焼き）」は厳密には別種の料理ではあるが、なんとなく両者が混同され、その過程で「明石のタコ」がいつの間にか評判を

確立した、というのが推測である。

一見、格式と伝統のある物が実は杜絶していたという事例は、さほど珍しくはない。最も著名な例はフランス・ワインである。中世からワイン作りの中心になってきたフランスは、1850年代にアメリカから移入した葡萄苗に寄生していたフィロキセラ菌が蔓延し、免疫がないフランスの葡萄苗はたちまち全滅の憂き目にあった。免疫を持っていたアメリカ産の葡萄苗の台木にヨーロッパ産の葡萄苗を接ぎ木して葡萄畑はよみがえり、ようやくフランスのワイン作りは復活した。現在、絶滅前の本来のフランス産苗木でワインを作っているのは被害を免れた南米諸国である。ちなみにフィロキセラ菌は明治時代の日本にも侵入し、日本各地で始まっていたワイン作りは苗木を焼却処分せざるを得ず、これまた全滅に近い状態になった。被害を受けなかったのは山梨だけであり、そのため同地方は以後も連綿とワイン産地として活動することになった。

歴史学の世界でも、評価や認識の書き換えは日常茶飯事である。幕末の越後地方（現在の新潟県）に河井継之助という人物がいる。越後平野の奥部に位置する長岡藩で家老を勤め、戊辰戦争では会津側に立って政府軍と奮戦した。継之助が率いた長岡藩軍は10万石に満たない中規模の藩でありながらも政府軍によく対抗したが、その理由の一つは領内に莫大な御用金を賦課し、ガトリング砲などの近代兵器を購入して重武装したことによるところが大きい。しかし戦闘によって長岡の街は焦土と化し、人的にも経済的にも大きな被害を蒙り、また治世中に領民に課した負担も大きかったことから、長らく新潟県の地方史研究では継之助の評価は最低のランクであった。

しかし昭和41年に司馬遼太郎が河井継之助を主人公にした『峠』という歴史小説の傑作を発表し、継之助を時流にあらがった独立精神旺盛な英雄（同人の思想が、小説で描かれているような永世中立国を目指したものであったかどうかの史料的裏付けはない）と高く評価したことが分水嶺になった。今日の新潟では、河井継之助は郷土の偉人である（ただし近年は、またその揺り戻しとして辛口の評価も散見される）。

このように盤石な基盤の上に成り立っていると見なされがちな知識世界も、手づかみでは捕獲困難なタコのように、実のところ妖しげな部分を相当にはらんでいる。